

会 議 録

■会議名	第3回 倉敷市社会福祉審議会障がい者基本計画及び障がい福祉計画策定専門分科会
■日時	令和5年11月9日(木) 16:00~17:30
■場所	倉敷市役所本庁舎7階 第701会議室
■出席者	生水副専門分科会長、安原委員、薮田委員、眞神委員、松井委員、平松委員、友国委員、古谷委員、井桁委員、安藤委員、藤原委員 藤原保健福祉局長、小野社会福祉部長、清水社会福祉部次長、山田障がい福祉課長、丸田障がい福祉課長補佐、舟戸主幹、小野主幹、藤原主任村岡(株式会社公益創造センター)
■欠席者	後藤専門分科会長、山田委員、上村委員
■傍聴者	なし
■進行	1 開会 2 議事 (1) 倉敷市障がい者基本計画及び障がい福祉計画(素案)について (2) その他 3 閉会
■内容	2 議事 (1) 倉敷市障がい者基本計画及び障がい福祉計画(素案)について ○事務局説明(基本計画の計画の基本的視点から) ○質疑 生水副会長 ご質問、ご意見ありましたら発言をお願いします。 友国委員 39頁、どこにも相談できない人が50%。家族会でもどこに行ったらいいかわからない人が多い。どういう取り組みをしたらいいのか。 事務局 地域活動支援センターI型が各地区にある。基本の相談窓口として設置しているのでご相談いただけたら。 友国委員 ありがとうございます。 藤原委員 印象に残ったのは、共生社会、地域に理解してもらおうというところ。1型に行きつくまでの相談がわからない。会の存在がこれからは重要。障がいがあっても行けるイベントがあるのは心強い。 平松委員 いきいきふれあいフェスタだと思うが。一般人の理解を得るために誰でも来てもらえるようにした。スポーツばかりでなくいろいろ楽しめる内容にした。 藤原委員 触れ合える唯一のイベントなので積極的に広報してほしい。 事務局 イベントは大事。明後日もフォーラムがある。ユーチューブもやりながらアイドルや吉本の芸人も来る。ぜひ来てください。障がいのある人の乗馬体験も水島中央公園である。気球搭乗体験なども。今後いろいろやっていきたい。

○事務局説明 (福祉計画)

○質疑

生水副会長 ご質問やご意見ありましたら発言を。

平松委員 20 頁、地域相談支援体制の充実。今までグループホームに入っていた人、障がい者の権利条約で、入所施設を終わらせると聞いたが。3 以上が対象か。親が心配している。

事務局 できるだけ入所施設から地域へという考え方は、国の大きな考え方。福祉計画でも 34 頁に国から数字が示されている。443 人の 6 パーセント以上を地域生活へ移行しなさいと。それに従う形で 48 頁の施設入所支援の見込みで、令和 8 年には 420 人にする。区分はより重い人が施設入所。受け皿としては在宅、グループホームがある。48 頁の共同生活援助。戻り先として想定されている。やりたい事業者もあり、だんだん増えている。今後増加を見込んでいる。施設をなくすことはない。必要な人はいる。見込み値としては 420 人を設定している。

平松委員 グループホームを終わらせると言っている。重度の人は行き場がない。国に言ってほしい。

事務局 グループホームを終わらせるという考え方はないと思う。法改正でグループホームの機能強化がある。一人暮らししたい人の支援もグループホームがすると。利用者数を減らしましょう、という方向性はない。

平松委員 権利擁護で話がでていると聞いた。

井桁委員 障がいがあっても動ける人が対象。在宅で家族が頑張っている人もいる。重度で重複の人、そういう人もいるということも心にとめておいてほしい。施設ではなく家にいたいという人もいる。

事務局 決して忘れていたわけではない。サポートが我々の仕事。災害時に逃げられない人については、要支援者名簿を作っている。

藤原委員 就労支援について、46、47 頁。就労定着支援の利用者が 2 桁。就労移行支援を受けて一般就労した人のためのサービスだと思うが。受け皿がないのか。就労支援 A 型、B 型に行く人が多いのか。なぜ少ないのか。事業所が少ないのか。卒業した人は、就労定着支援は受けられない。また、45 頁の就労定着支援と就労選択支援の違いがわからない。

事務局 就労して半年後から定着支援が使えるようになる。事業所が少ないのではなく、利用者の希望の関係だと思う。

「ふじ園」などは自主的にアフターフォローをしている。就労選択支援とは、A 型 B 型など、就労系のサービスのどれが自分にあっているかアセスメントするサービス。全国的な流れのなかで国が創設したと思う。

生水副会長 次の議事に移りたいと思います。

(2) その他

○事務局説明

今後の予定について、素案を保健福祉委員会へ報告。12 月にパブリックコメントの

実施を予定。1月18日(木)17:30から第4回専門分科会502会議室で開催。 素案の修正については、後藤会長と協議の上で修正します。
--

会議録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名します。

倉敷市社会福祉審議会障がい者基本計画及び障がい福祉計画策定分科会

副専門分科会長

生水洋次

